

保護者の皆さんからいただいた
子どもたちの「よさ」と「伸ばしたいところ」

～たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。～

よい（あったか～い）ご意見	さらに伸ばしたい・改善のご意見
・毎日楽しく学校に通えるのも先生方と友達のおかげです。 ・先生がきちんと子どもの話を聞いてくださるので、学校で少し嫌なことがあっても気持ちを立て直し、楽しそうに学校へ行っています。 ・先生にほめていただいたことは家庭でも嬉しそうに報告をしてくれています。 ・友達との仲が深まって、毎日楽しく登校して行きます。 ・困っていることを先生に相談したところ解決できたので感謝しています。 ・先生方の細かな連携を心配りに大変感謝しています。子供が楽しく学校生活を送っている様子に安心しています。 ・朝の旗振りの時、登校リーダーが声がけし、一斉に「おはようございます」と言っていました。先取りあいさつ、元気よくあいさつすることが習慣でき、素晴らしいと感じました。	▲あいさつ ・みんなで声を合わせてするのも良いですが、少し不自然に感じます。一人一人が積極的にできるようになるといいと思います。 ・旗振りの時、あいさつができる子は、2～3人しかいません。知らない人にむやみに声を掛けるのはいけませんが、保護者にあいさつができないことは考えていきたいです。 ▲行事 ・プール当番をやめてほしい。 ※来年度は地区水泳は市の方針で廃止。 ・参観会開催日を低・高にならないでしようか。 ▲学習 ・道徳の授業でいじめについて考えるだけでなく、行動や人への態度など実際の生活での友達つきあいに結びついてない様に感じます。

アンケート結果や皆様の言葉から、西山口小学校の子どもたちのすばらしさが伝わってきます。「楽しい学校」、「温かなかわり」、「早寝・早起き・朝ご飯」など、多くの項目において高い満足度を得ています。これらは、子どもたちのがんばりによるものです。そして、そのがんばりを保護者の皆さんと地域・学校がパートナーシップを築きながら支えてきたからではないでしょうか。

一方、「さらに伸ばしたいところ」に目を向けると、「あいさつ」や「あったか言葉」など、「よさ・よい表れ」と似た内容も挙げられていました。「学校全体としてはできているが、まだまだの部分がある。」「もう少しがんばれば、さらに力が伸びると思う。」、そんな思いの表れではないでしょうか。皆様からの思いを受けとめ、来年度も西山口の子どもたちのために授業や学校生活の充実に努めていきます。今後も、家庭と地域、学校のパートナーシップを高めていきましょう。よろしくお願いします。



アンケート結果に対する「考察・改善策」を裏面で紹介します。

H30アンケート結果より（◎考察、★改善策）

☆評価A（よくできた）＋B（だいたいできた）の合計（％）を達成率とします。

学校が楽しいことが一番！

◎アンケート結果は、児童が94％、保護者が97％と高い達成率でした。子どもたちが毎日、学校に通うことができるためには、「学校が楽しい」ことが一番です。児童だけではなく、保護者の方の達成率が高いことは大変嬉しいことです。今後も、「楽しい学校」をめざしていきます。

★「学校が楽しくない」と回答する児童がいます。担任とその児童一人一人と話をし、楽しくない原因を取り除くように努力します。保護者の方も、子どものちょっとした変化や困っていることを遠慮なく学校へ伝えてください。

3つの自慢を本物に！

「あったか言葉」「先取りあいさつ」「黙ってそうじ」を西山口小学校の自慢にしようと取り組んできました。

◎児童のアンケート結果は、「あったか言葉」が92％、「先取りあいさつ」は91％、「黙ってそうじ」は91％の達成率となり、高い評価でした。委員会等による児童主体の自慢づくりへの取組や学級での振り返りや励まし（がんばっている友達の賞賛など）が成果となっていると思います。

★保護者のアンケートでは、「あったか言葉」の達成率が85％であり、子どもたちはできていると認めていても大人は児童の気になる言動があると感じているのではないのでしょうか。

3つの自慢を本物していくために手立てを打っていきます。ご家庭や地域でのご協力もよろしくお願いいたします。

ご家庭に感謝！

◎「早寝・早起き・朝ご飯」達成率は、児童が92％保護者が96％でした。睡眠をしっかりととること、朝ご飯を食べることは毎日元気に生活する基本であり、学力をつけことにつながります。ご家庭に感謝！

学力とは？

◎児童のアンケート結果は、「授業の内容がわかる」が89％の達成率でした。約9割の児童が「わかる」と回答しています。

★しかし、「わからないことを訊いている」の達成率は、81％でした。西山口小では、2つのきき方（聴く・訊く）を通して、学力を付けていくことを目標にしています。わからないことは、「それは、どういうこと？」「わたしもそう考えたよ！」等、友達同士で考えをつなぎ、課題を解決していく授業を目指していきます。知識だけが学力ではない時代です。